

# 白友会会報

編集責任者  
橋本 豊子  
大阪医科大学  
附属看護専門学校  
No. 4  
平成13年 4月

## 会長 あいさつ

白友会会長

勢川 瑠美子



遠い日のように思っていました二〇〇一年を迎え、二十世紀と二十一世紀をつなぐ特別な年という実感に新たな意気込みを感じております。同窓生の皆様には、お元気で佳き年を迎えられましたでしょうか。昨年の六月には第二回白友会総会を開催致しました。会員の皆様のお力添えと、多くの方々のご出席により、和やかな中、盛大に終了することが出来、新たな想い出を加えることができましたことを、役員一同心から感謝致しております。回を重ねるたびに、白友会々員の絆が強くなりますことを大変心強くうれしく思いますと共に責任の重さを感じております。

私は昨年四月より、母校の看護専門学校に戻り、学校長としての大任を拝命致しま

した。二十一世紀に於ける教育のあり様を、地に足をつけて考え続けなければなりません。精神的に大人になりきれない若者が増える中、目標に向かって入学する看護学生でさえも、いとも簡単に進路を変えたり、何とか看護婦になりたいと努力はしていますが、人間関係が上手に保てず、やむを得ず去っていく学生等、きびしい現実とむき合っている毎日です。

一方厳しさを増す、医療の現場に送り出すことを考えますと、卒業まで手を差し延べ、支援することは可能ですが、卒業後一人の職業人として、複雑で責任の重い仕事に就くことは容易でないことの判断も迫られています。附属病院のスタッフ共々、これからの一年間、変化や多くの問題に対応していくための方策を考えて行かなければなりません。これまで以上に、臨床での看護教育、基礎教育の場での教育を互いに連携を密にし、よりよい看護を目指して努力

することを心致しております。白友会の皆様におかれましても、これまで以上にきびしく、又暖かく見守っていただきますことをお願い申し上げます。四年毎の白友会を待つまでもなく、いつでも、何なりと気軽にお声をかけて下さることをお願いして私のご挨拶とさせていただきます。



八丁松原（昭和初期）



# 大阪医科大学附属看護専門学校 同窓会（白友会）総会報告

白友会副会長

橋本 豊子

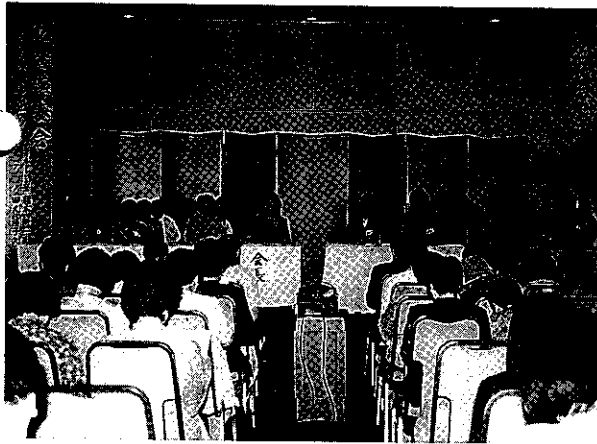
春風のこちよい季節になりました。今年は二十一世紀の幕明けの年であり、会員の皆様には新たな願いを胸に新年をお迎えのことと存じます。

昨年、六月三日（土）に第二回大阪医科大学附属看護専門学校同窓会（白友会）を高槻市内のホテルにて開催致しました。総会に際しましては、大学関係者の皆様、歴代校長、関係者の皆様のご支援とご臨席を賜りまして盛会に執り行うことができましたことを厚く感謝申し上げます。

総会開催にあたって、勢川会長の開会のご挨拶にはじまり、ご来賓のお祝辞をいただきました。

続いての議事進行は、会員二六〇名のご出席のもとに議案の承認をいただき無事成立することができました。

総会終了あとは、開催を記念して『クラリネットとピアノ』の演奏会が行われました。美しい音色は心響く感動とともに心が和むひとときでありました。演奏の余韻を残しながら、楽しみの懇親会に入りました。まさに、華や



かさと賑やかさは青春時代にタイムスリップし苦楽を共にした先輩・後輩・級友との絆を確かめる時でもありました。名残りつきない歓談は二次会やクラス会にひきつがれたようでした。

今回は第二回総会となり、出席数を心配しましたが大勢の会員の皆様にご

参加いただき役員一同ホッと致しました。反面、配慮の届かなかった点もありご迷惑をおかけしたこともあったかと思ひます。お気づきのことがありましたら、次回総会に備えてまいりますのでなんなりとお申しつけください。最後になりましたが、本同窓会が盛衰に終りましたことに改めて深く感謝申し上げますとともに、会員の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

## 同窓会（白友会）総会

時間…一四〇〇—一六〇〇

司会…西山裕子・福富美樹

### 総会次第

一 開 会

二 黙 禱

三 会長挨拶

同窓会会長 勢川 瑠美子

四 来賓挨拶

大阪医科大学附属看護専門学校  
前学校長 東 郁郎

大阪医科大学附属病院  
看護部長 神谷 美佐子

五 議長選出

議長選出

六 議 事

第一号議案

事業報告（平成11年度）

第二号議案

会計報告（平成11年度）

会計監査

第三号議案 事業計画（案）

第四号議案 役員選出

七 役員紹介

八 学校・病院紹介

九 記念演奏会

クラリネットとお話

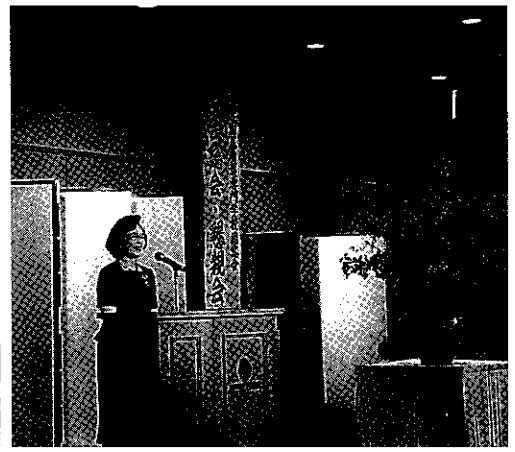
稲本 耕一氏

ピアノ

田丸 淳子

十 閉 会





同窓会（白友会）懇親会

時間…一六・四〇～一八・四〇  
 司会…岡崎和子・中山サツキ  
 懇親会次第

- 一 開会
- 二 会長挨拶 勢川 瑠美子
- 二 同窓会会長 勢川 瑠美子
- 二 来賓祝辞 大阪医科大学 理事 長 田中 忠彌
- 四 祝電披露 大阪医科大学 元校長 堺 俊明
- 五 乾杯
- 六 フリータイム
- 七 演し物
- 八 閉会の挨拶 同窓会副会長 橋本 豊子
- 九 閉会

同窓会新役員紹介

四年間、前会員の皆様が築かれた礎をもとによりいっそう発展させるべく努力して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

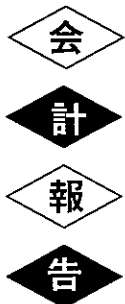
- 会長 勢川瑠美子
- 副会長 橋本 豊子
- 書記 神谷美佐子
- 守本 俊子
- 会 計 城戸 滝枝
- 小野恵美子
- 宮武 明
- 服部 誠子
- 坪内 操
- 小倉 栄子
- 山本 利枝
- 森山 幸子
- 小牟田美幸
- 黒岩 真紀
- 常任幹事
- 会計監査



叙勲おめでとうございます

- 平成11年度春の叙勲
- 新制看護婦学校昭和27年卒業2回生 敷七等宝冠章 丹羽 弘子様
- 平成12年度 春の叙勲
- 新制看護婦学校昭和26年卒業一回生 敷五等瑞宝章 加藤 道子様

平成12年度



< 収 入 >		
項目	金額	備考
繰越金	11,087,758	
会費	840,000	新入会員 5名 12年度卒業生79名
賛助広告	140,000	
合計	12,067,758	

< 支 出 >		
項目	金額	備考
事業費	1,852,690	第2回総会・会誌発送
会議費	0	
管理費	420	文具代
予備費	214,615	叙勲お祝い2名分 祝電 弔電
合計	2,067,725	
繰越金	10,000,033	

平成13年3月31日

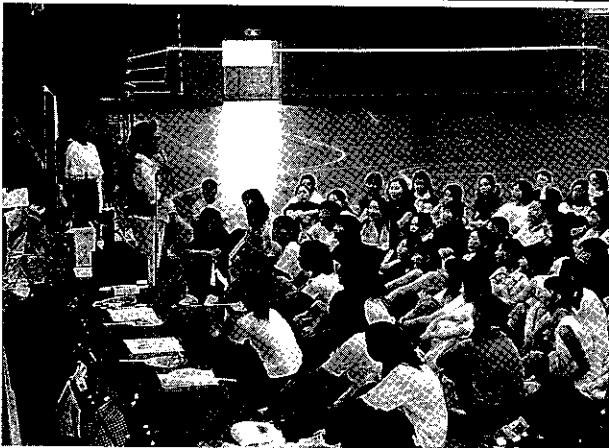
# 母校の近況報告

白友会常任幹事

森山 幸子

同窓生の皆様にとって、看護学校時代の出来事は、何かにつけて懐かし思い出されることと思います。多くの場合は、病院実習でしょうか卒業式でしょうか それとも、寮祭、クリスマス会でしょうか。

西暦二〇〇〇年の本年度は、学生の思い出作りに新たな風景が加わりました。従来、行なわれていた修学旅行や



交流会開会式風景

クラス毎のレクリエーションが「交流会」へと姿を変えたのです。

勿論、修学旅行などはクラスの協調性や親密性を培うのですが、カリキュラムの変更に伴い学校行事も変化し、その機会がレクリエーションとなりました。その機会がレクリエーションの目標に加え、クラスの学生間のみならず他のクラスの学生とも相互の親睦を深め心身のリフレッシュをはかるべく「交流会」となりました。学校行事の目的にある「学生生活を充実させると共に、主体性・社会性を高め、看護者として自己成長していく基盤を培う。」の主体性の部分は学生自身が企画・運営に大きく携わる事で充実した内容となったように思われます。

今回の運営は、初回の交流会と言うことで、①ソフトバレーボール②各クラス五チームづつ結成する③応援合戦をするという条件の下でスタートしました。委員会は各クラス二名の委員がクラスより選出され（第一看護学科六名・第二看護学科四名）その中から委員長・副委員長が選ばれ委員がそれぞれルールや内容を企画検討していくと言う手順を踏んで実施して行きました。さて、九月十四日「交流会」当日は委員先導のラジオ体操には、現代っ子らしく？体操と言うより何となく体を動かす感じがしていたのですが、いざコートに入ると闘志満々。チームの団結は心配するまでもなく、ひたすらボール

クラス対抗での交流会風景



を追う友人たちに、コートの外からアナウンスが聞こえない程の応援の歓声・拍手の渦でした。また、いつ練習しているの？と教員を心配させていた応援合戦は、呼吸もピッタリと合意アイディア一杯のコスチュームで登場、三分の制限時間でクラスの雰囲気や盛り上がりや表現する力は、新人類のものしさを感ぜさせる一面でした。暦の上では初秋。しかし、西暦二〇〇〇年の看護学校は暑い熱い一日でした。

大阪医科大学付属病院  
戦前の病棟詰所風景（昭和六年）



## 実習病院の歴史紹介

昭和六年頃の病棟詰所風景です。昭和四年大阪高等医学専門学校附属病院が高槻に新設され、地名をつけて三島病院と称され、昭和五年開院式が行われました。

当時、病床数は一二〇床で階上は内科系、階下は外科系で寝具類も病院に備えられ、給食も実施されました。看護婦の白衣は、現在のものとは異なり、機能的なものとは言えませんでした。時代の流れや医学的側面から数々の変遷を経て現代の様なデザインに発展してきました。

# 病院の近況報告

— 看護の質向上を目指して —

大阪医科大学附属病院

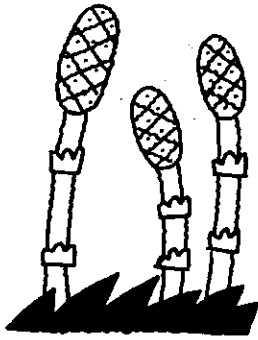
看護部教育担当

小野 恵美子

二十一世紀を迎え、ますます複雑化する保健・医療・福祉環境の中で、看護の役割拡大・期待が必然的に求められています。当院看護部は勢川看護部長の退任に伴い、平成十二年四月一日より神谷看護部長が就任され、新たな看護副部長三人と共に新組織としてスタートいたしました。勢川前看護部長が築いてこられました実績を継承し、より発展させるために日々看護の質向上に向けて努力を重ねています。

今日、医療事故に関する報道が連日のようにマスコミで取り上げられ、医療に対する信頼感が大きく揺らいでいると言っても過言ではありません。特に特定機能病院としての役割を遂行し、高度な治療・医療を提供する大学病院においては、より安全・危機管理が強く求められます。当院においては「大阪医科大学附属病院としての安全対策の組織体制」を確立すると共にリスキーマネジメントがシステム化されました。各部門・各科にリスキーマネージャーが配置され、その中で看護部は事故防止に主体的・積極的に取り組み、チーム

医療の中で規範的な役割を担っています。看護の安全性なくしては質の向上は図れません。そのため看護職の資質をより高めていくことが課題となっています。人材育成においては大学病院としての役割を遂行し、質の向上を目指して看護のスペシャリストの育成を視野に入れた継続教育の充実に重きを置いていきます。各スタッフの教育ニーズを把握しながら主体的に学ぶことができるように動機づけを行い、学習意欲を喚起させたいと考えています。各スタッフがコンピタンス（創造的に問題解決を図る能力）を身に付け、資質の向上が図れるように看護部として支援し、専門性の高い看護職の育成に努めてまいりたいと思います。このような観点から会員の皆様方の温かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 恩師からの

### メッセージ

#### 「看護学校の思いで」

大阪医科大学教授（物理学教室）

田中正寛

私が本学の看護学校で講義をしていたのは、もう三十年も前のことである。当時、本学に赴任したばかりで、それまでは高校の先生が教えていたという看護学校の一般教育科目を、新設された教養部の先生方と一緒に担当することになったのである。

予想はしていたが、物理学は女子学生には苦手の科目のようであった。しかし、みんな高校を卒業したばかりで、若さにあふれていて、熱心に勉強してくれたのがとてもうれしかったのを憶えている。実は、他の病院の看護学校では三十〜四十代で現役の看護婦さんの学生などいいて、そんな学生はもう物理学は生理的に受け付けられない状態でお手上げなのであった。

物理学は自然現象を量的に記述するので、どうしても数学的な表現が多くなるのであるが、看護学校の学生は出身校によるばらつきが大きく、数学は四則算に限らざるを得ない状態であった。それでも、試験をするとクラスの

半数以上が百点をとるような問題でも、毎回不合格の学生がでるのであった。

医学は科学としてみれば人体工学ともいえるかもしれないけれども、心をもった人間が対象であるがゆえに科学を越えた重要な側面をもっており、心が体に大きな影響を与えるという例が数多く知られている。

以前、私の母が胃ガンと診断されて入院したことがあった。抗ガン剤などの投与でそれまで飲んでいた血圧の薬は中断されていたが、母の姉は血圧が原因で長い入院生活を続けており、母も血圧を大変気にしていたのである。

見舞いによく、動悸が激しく、荒い呼吸で胸が大きく上下していた。私はとっさに「血圧の薬を気にしているんだ」と思い、看護婦さんに、薬は入っていないから「血圧の薬は入っている」といつてくれるようお願いしました。そして次の投薬のとき、看護婦さんは「おばあちゃん、血圧の薬、入っているからね」といつてくれました。母は大きくうなずき、しばらくすると動悸は消えて安らかな寝息をたて始めたのでした。看護婦さんの発した音声は母の体の生理状態を変えてしまったのです。

看護婦さんの仕事は患者の心に大きな影響を与える職業だと思えます。どうか患者さんたちを温かい心で見てあげてください。

# 思い出の窓

## 思いを辿る

昭和34年度卒業

二年課程 全日制一回生

松本京子

看護部です・電話の向こうの声に一瞬？白友会会報思い出の窓に投稿依頼を受けてしまった。過ぎ去りし年月から心に残る思いを二、三綴ってみる。

改装前の看護部室のドアは近寄りたいたいものがあった。凍とした空気、初代部長の横顔は端麗で厳しく看護婦以前人としての心のあり様を論し語るかの如く。

開かれたドア・前部長の方針であり入り口の空間は一呼吸できる格好の控え室になった。美しき花にも心揺れる。いきつ、もどりつふと立ち止まる踊り場、清掃のモップが一定のリズムでながれている。

誰か返事して・高圧的で抑揚ない口調にスタッフの耳にはタコ、つい先日日本諺四〇〇選で偶然目にした。立つより先に返事・響きの良さにほくそ笑むも退職して七か月の距離は最早過去のできごとさえも朧になりつつ、突然の訃報に課長の前で涙したあの日の悲しみも遙か昔に思われる。

# 七夕近況報告

昭和39年度卒業

二年課程 全日制六回生

阿部チエ子

今年の七夕会は、白友会総会に出席後、京都で一泊し石川丈山の晩年を過ごした詩仙堂を何年ぶりかで散策した。東山を背景にした静かなたたいた住いはい何度訪ねても心の安らぐ所である。

昼食時には勢川学校長も出席され、皆で会食をしながら、おしゃべりをして、来年は別府湯布院で郷土料理を食べながら風光明媚で健康によく、都会では味わえない大自然と親しんで頂き、思い切り身も心もリフレッシュして頂く計画をしている。

「光陰矢のごとし」あつと言う間の二日間であったが心身共にリフレッシュ出来た二日間であった。

雅

京訛水無月豆腐食べにけり  
時計草一輪活けし京の宿  
水無月や籠弁当の京づくり  
蛭籠母の歌声聞こえけり  
卯の花や同窓会の大合唱  
雨上り一山を背の落暉かな

ご計画下さった同窓生の後輩の方々へ深く感謝いたします。

又四年後を楽しみに致しております。皆様方もお元気で活躍をお祈り致します。

# 定例同窓会

## 思い出

昭和44年度卒業

准看護婦学校十五回生

安達ゆき

私達十二人は、准看護婦学校の同窓生としてこの度、十一月二十五日、二十六日の一泊で、湯布院（大分県）に出かけました。大阪医大に勤務している同

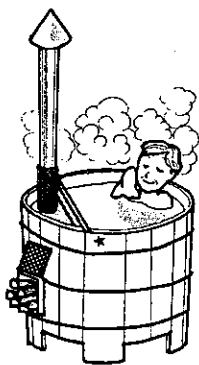
湯布院にて



窓生も二人おり、この度の、勢川瑠美子看護部長の、定年退任を迎えられた事を知り心よりお祝いを申し上げます。私達にとつては、いつまでも看護婦学校の恩師としての、優しい面影が焼き付いています。

宿では昔話に花が咲き、勢川先生の事、第二の故郷高槻の事、愛泉寮の事……夜更けるのも忘れて、まるであの時に戻ったかのように話をしました。中には二五年ぶりに顔を合わせた人もいたのですが、その月日を感じさせない？すぐに愛称や、旧姓で呼びあたり、気がねなく話せるから不思議です。そういう友達って、とてもいいと思うし幸せな気分になりますね。私事で恐縮ですが、股関節の手術を受けて、長歩きや重たい荷物を持つたりが出来ないんです。それで皆が、気にかけてくれるんですね。なかには靴を履きかえてくれたり、嬉しいやら恥ずかしいやら……。

年に一度の再会を約束して、楽しい旅を終えました。



## 学友

昭和41年度卒業

准看護婦学校十二回生

垣内 秀子

誰が来るのかなとワクワクしながら、高槻から快速電車に乗る。京都駅のホームに電車が滑り込む。車窓からホームを見ると昔はお嬢さんの集団三〇四を見つける。きつとあれだなと思ひそちらの方へむかっているとやっぱりそうだった。遠く福岡・名古屋・和歌山最南端から来る人達も湖西線ホームに集まる。ある程度そろったところで雄琴温泉へ。現地に行く人もいろいろ。今日は楽しみにしていたクラス会。平成十二年六月三日白友会総会で懐かしい同窓生・先輩・後輩と会い、時間があつと言う間に過ぎてしまった。まだまだ喋り足りなく「今度は泊まりがけでクラス会しようよ。」と、誰からともなく言いだし、母校の大阪医科大学附属病院に勤務している同級生に幹事をお願いして、十月十四日土曜日雄琴温泉でのクラス会が実現した。卒業三十五年、皆それぞれに苦労も悩みもあっただろう。専業主婦で収まっている人・パートで勤務している人・夜勤をしながらまだまだ現役で頑張っている人等、いろいろで当然環境も違っているが、みんな学生時代にタイムスリップしていた。生き生きと目を輝かせ話が弾む。日頃のストレスが一気に氷解

していった。翌日、坂本まで出て日吉大社に詣でた。日吉造りの本宮をはじめ、国の重要文化財である社殿等をゆつくりと見て回っていると心が和む。やはり、年かなと思う。次に、延暦寺で修行を終え里防に住んだ僧侶の隠居所で、名勝に指定されている十庭園の一つである旧竹林院で、お抹茶を頂きお庭の由来を聞きながら「わび・さび」の世界に身をゆだねると、普段の喧噪を忘れ心の洗濯が出来た。穴太積みの美しい石垣を見ながら坂本駅までそぞろ歩く。昨日・今日と心の窓を大きく開け、癒しの風を友からいっぱい送り込んでもらった。明日からまた頑張る仕事に励もう。

雄琴温泉にて



## — 八丁松原 —

本学と国道170号線を挟んだ東側に「八丁松原」があります。江戸時代から「陸の天の橋立」といわれたほどの風光明媚なところでありました。明治以後、国鉄（JR）や阪急電車、道路が東西に横切り、現在では高槻市の史蹟公園として、その面影を僅かにとどめるばかりとなっています。

「碑文」には次のように記されています。

「史蹟名勝八丁松原は慶安2年7月（1649年）高槻城主永井日向守直清が山城国勝龍寺より高槻城へ移封された。当時京口より西国街道に通ずる八丁の間この道路を新設し同時に松数百本が植えられ明治維新に至るまで城主永井氏代々により保護された…」

その昔、この道を永井侯の駕籠を中心に、参勤交替の列が毛槍を「下に下に」と、京口から八丁松原を通り西国街道へ向かって、浮世絵のごとくぬけていったことでしょう。現在は車やトラックが切れ目なく通り過ぎて、すべては時の流れの中に、残された松達が静かに空を仰いでいます。



現在の八丁松原（平成十三年）



# 新入会員紹介

(平成12年度卒業生) 第一看護学科16回生39名

(平成12年度卒業生) 第二看護学科32回生40名

浅山尚美	小舟佑果	松井那々	青野徳美	坂口華子	林 ゆかり
穴見啓子	品川佳織	三嶋富美	赤松こずえ	瀬川由希	田原佳奈
上野環	白神千晶	溝田真弓	秋吉保枝	高澤律子	廣瀬寛美
上野のぞみ	白師亜希代	宮下志麻	阿部真理子	高野光	廣瀬真理子
浦部真理	須山和美	村山明子	石田亜希子	高橋里沙	藤江香
大西敬子	田中裕子	森本美加	今西美保	竹下仁美	前田佳恵
加藤千晶	谷出景子	山山口雅	織田洋子	竹本恭子	安田晴子
川村純子	根来麻子	山横山享	柿田久美	田中郁子	保田ちひろ
久保恵子	橋本知春	吉和田麻友	増川みどり	塚田由佳	山本真弓
熊谷直子	東久美子	和	岸原伸香	中西奈美	若赤末
小興石島	藤原智子		戴田賀香	村谷西	
小島理沙	増田高		古小	長西	

## 事務局からのお知らせ

### ▲慶弔について▼

左記の事項について、会員またはクラスメートの皆様からのご一報を事務局までお知らせ戴きますようお願い致します。

慶事 会員の慶事に際しては、国レベルの叙勲を対象にお祝いの贈呈とご氏名を「会報」に掲載致します。

弔事 会員の訃報に際しては、ご氏名を「会報」に掲載致します。

▲クラス会を開催▼されましたら、どうか事務局へもご一報下さい。懐かしい思い出の一コマを、クラス会日よりご紹介したいと思います。

### ▲会報・名簿について▼

情報社会の現代を反映してか、最近名簿などを悪用される場合があります。会員の皆様には保管に充分ご注意頂きますようお願いいたします。

## 計報

看護婦学校二年課程(定時制)  
昭和四十七年度卒業 革島敬子様  
准看護婦学校  
昭和三十九年卒業 円城寺美代子様  
(旧姓吉田)  
謹んでご冥福をお祈りいたします

## ▲新入会員の募集▼

白友会の会員数は、毎年新入会員を迎え増えています。しかし、未だ白友会への入会方法を御存知でない方もあるように思われます。  
左記連絡先をご利用の上、入会をお待ちしております。  
白友会事務局  
☎〇七二六―八四一〇八七一

## 編集後記

昨年は会員の皆様をはじめ、多数の方々に御協力頂き、第二回白友会総会を開催することができ、心よりお礼を申し上げます。

総会では懐かしい皆様のお姿を拝見することが出来る喜びに加え、数多くの温かい励ましのお言葉を頂戴し、胸が熱くなる気持ちで一杯でした。

今後も会報を楽しみにして下さっている皆様のご期待に添えるように、また会員皆様の相互の交流が図れるような会報をお届けできるように、より一層の努力をしてみたいと考えております。

つきましては、皆様方からのご意見やご要望なども遠慮なくお寄せ頂ければ幸いです。  
最後になりましたが、お忙しい中、ご執筆頂きました皆様に深く感謝致します。

会報担当  
橋本豊子  
黒岩真紀  
小牟田美幸